

## 会 議 録

1 会議名	第2回 南砺市社会教育委員会
2 議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 付議事項</li> <li>(1) 令和2年度当初予算要求の概要について</li> <li>(2) 第16回南砺市社会教育推進大会について</li> <li>・ 報告事項</li> <li>(1) 令和2年南砺市成人式について</li> <li>(2) 教育振興基本計画(案)について</li> <li>(3) スポーツ推進計画(案)について</li> <li>(4) 第2期南砺市子ども・子育て支援事業計画(案)について</li> <li>(5) とやま*なんと国体2020について</li> <li>(6) その他 当面の主な行事予定について</li> </ul>
3 開催日時	令和2年2月10日(月) 午前10時00分から午前10時59分
4 開催場所	南砺市役所井波庁舎 3階 301会議室
5 会議出席者	<p>南砺市社会教育委員 出席10人/全14人</p> <p>委員：武田和一、岩井透、小松敬子、島田博英、中井将司、橋本正俊、牧信二、吉田茂、横山一乃、齊藤優華</p> <p>事務局：教育長、教育委員会教育部長、教育部参事こども課長、教育総務課長、生涯学習スポーツ課長、スキー国体推進室長、生涯学習スポーツ課長補佐、生涯学習スポーツ課生涯学習係長、生涯学習スポーツ課生涯学習係主事</p>
6 欠席者	委員：梅原雅美、小原勉、尾田慎一郎、玉井順一
7 傍聴者	無し
8 議事内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開会 桜野生涯学習スポーツ課長</li> <li>・ 開会あいさつ 武田委員長 松本教育長</li> <li>・ 進行 武田委員長</li> <li>・ 付議事項</li> <li>(1) 令和2年度当初予算要求の概要について説明 事務局：(資料1に沿って説明)</li> <li>(2) 第16回南砺市社会教育推進大会について説明 事務局：(資料2に沿って説明)</li> <li>● 質疑応答 委員長：学校の防犯カメラは中学校3校に設置すれば、全ての学校への設置が完了するということか。</li> </ul>

事務局：小学校には既に全て設置されている。中学校は令和2年度に残りの3校に設置する。

・報告事項

(1) 令和2年南砺市成人式について

事務局：(資料3に沿って説明)

●質疑応答

委員長：今年も全地域で無事に終了したのか。

事務局：全地域で無事に終了した。

委員長：成人年齢が18才になるのは2年後からか。

事務局：2022年4月1日から施行となるため、2023年1月の成人式が初年度となる。開催方法については、他市の動向も見ながら協議していく。ただ、18才で成人式を行うことは受験と重なり、出席が難しいと思われる。その場合は、「20才の集い」ということも考えられる。

(2) 教育振興基本計画(案)について

事務局：(資料4に沿って説明)

(3) スポーツ推進計画(案)について

事務局：(資料5に沿って説明)

(4) 第2期南砺市子ども・子育て支援事業計画(案)について

事務局：(資料6に沿って説明)

●質疑応答

委員：11頁、教育振興基本計画(案)基本施策の中で、「心の育成」と「確かな学力の育成」の順序を入替えた理由を詳しく教えてほしい。

事務局：どれも重要な施策ではあり、学力も大切ではあるが、南砺市としては、学力よりも心の育成を優先したいという姿勢を見せた形となっている。

教育長：基本目標に「豊かな人間性を育む学校教育の充実」とある。教育の目的には、大きく分けると人格の形成と文化の伝承・創造の2つがある。学力は、どちらかということと文化の伝承・創造になる。教育の目標には、人間性の育成を大きく掲げている。人間として、一人ひとりが育っていくということを全面に出そうということ

順序の入替えをした。1番2番と順序があるというわけではない。

委員：それによって、予算の重点が変わるということはないのか。

事務局：それはない。

委員：昔は知徳体とあったが、学校としては徳知体という思いでやっている。学力を軽視しているわけではなく、人格や人間性といった土台をしっかりと育ててこそ、知識や理解が伸びていくのではないかと思っている。資料にもあるように、最後まで頑張る力や他と協力する力といった非認知能力が、将来子ども達が育ったあと、大変重要な要素になってくるため、心の育成を1番目に移動したことは納得できる。

委員：中学校でもまず心が大事だと思っている。基本理念の「未来を切り拓く南砺の人づくり」ということを考えると、まずは心の育成があり、その後に素晴らしい知識やたくましい体があると良いのではないかと思う。

委員：幼児教育についても同じ。まずは安定した母子との愛着が大切であり、その後にさまざまな自然体験を通して、安定した人格が育まれた上で色々なものが吸収されると思う。

委員長：最近発達障害のお子さんが増えているので、心の育成は尚更大切になると思う。

委員：去年の教育振興計画策定委員会で、42頁のスポーツ推進計画の中の参考指標には全国中学校体育大会の成績も入るのではないかと指摘があったかと思うがどうなったか。

事務局：指標には入れてないが、計画書の記載に組み込んでいる。

委員：93頁の施策目標達成のために参考とする指標の中の、激励金交付者数には中学生は入っているのか。

事務局：中学生は入っていない。

部長：中学生については、教育総務課の補助金で手厚く支援している。

委員：高校生で、市外に転出して県外の高校に通っている場合は、激励金は出ないということか。

事務局：出ない。

委員：その反対で、市内に転入し、市内の高校に通っていて激励金をもらっている人はいるのか。

事務局：住民票が南砺市にあることを条件としているが、対象者はいない。

委員長：スポーツ推進計画は、10年計画か。

事務局：計画期間は10年で、中間年の5年で検証・見直しをすることになっている。

(5) とやま\*なんと国体2020について

事務局：(資料7に沿って説明)

(6) その他

当面の主な行事予定について

事務局：(資料8に沿って説明)

●質疑応答

委員：3月に予定されているフリースタイルモーグルはどのような規模で開催するのか。

事務局：富山県スキー連盟が行う。

委員：オリンピック関係について、南砺市としての事業はあるのか。

事務局：ボート競技の事前合宿が6月下旬から7月中旬にかけて入る予定になっている。オリンピック期間中に、観光客の皆さんや市民の皆さんを巻き込んだイベントを開催する準備も進めている。

・閉会のあいさつ 武田委員長